

運動機能の維持・回復でQOL向上を目指す

「がんロコモ」

立つ、歩くといった移動が困難となるロコモティブシンドローム。がんの罹患者が、骨や関節、筋肉、神経などの運動器に障害が起こり、日常生活の活動性を維持することができない状態に陥ることを、特に「がんロコモ」と呼びます。がん患者さんにとって運動機能を維持・回復することの重要性や「がんロコモ」の予防トレーニングについて、旭川医科大学病院リハビリテーション部の細川祐司理学療法士にお聞きました。



旭川医科大学病院
リハビリテーション部
細川 祐司 理学療法士